



# 紫雲児の心

夏休みが終わり、2学期がスタートした9月1日の始業式で、全校生徒に次のような話をしました。

## 後悔しない進路選択のために 校長 五十嵐 めぐみ

1学期の終業式に、私が皆さんに出した宿題は、「自分の良さを見付ける」ことでした。夏休みに、家族や親戚の人と、働くことや職業、自分の良さについて話したり、自分の良さを生かしてどんな風に誰かの役に立てそうかを考えたりできたでしょうか。2学期は、総合的な学習の時間に、1年生は職場を訪問し、インタビューなどを通して働くことについて学びます。2年生は、実際に職場での職業体験を行い、働くことや職業についての理解を深め、自分の生き方を考えます。そして、3年生は、中学校卒業後の自分の進路について考え、選択する時期を迎えます。

後悔しない進路選択のためには、大事なことが3つあります。まず1つめは、自分を知ることです。自分は何が得意で、どんなことに興味があり、将来、どんな風に生きたいのかを、自分自身で確認することが、後悔しない進路選択の第一歩です。ですから私は皆さんに、夏休みの宿題を出したのです。

2つめに大事なことは、相手を知ることです。進路選択の場合、相手とは進路先です。高校に進学したいのなら高校になります。自分が進路先として考えている高校が、どんな高校なのかを調べるのです。インターネットや資料で調べるだけでなく、オープンスクールや体験入学に参加し、実際に行ってみると良いです。また、その学校で学んでいる先輩や卒業生から話を聞くのも良い方法です。誰かが行っているからとか、家族に勧められたからなどの理由で、その学校のことをよく調べずに進学すると、後悔するかもしれません。しっかり調べて、自分に合っているかを考え、自分で志望校を決めましょう。

3つめに大事なことは、「力」をつけることです。自分を知り、相手を知り、この高校に行きたいと進路先を決めても、合格しなければ入学できません。受かるための学力が必要です。日々の授業を大切に、しっかり学力をつけましょう。また、高校は入学するだけではなく、卒業することが大切です。3年間毎日高校に通い、学習を続けるだけの体力も必要です。さらに、多くの高校では、様々な人とかかわりながら高校生活が進んでいきますから、人とかかわる力も必要です。

自分が希望する進路先に行くために必要な様々な力が足りなければ、希望する進路は実現しません。ですから、しっかり力をつけましょう。2学期は、学校の1年間の中で一番長く、体育祭や合唱コンクールなどの大きな行事があり、定期テストも2回あって、忙しい学期です。でも、その分、中身が濃く、皆さんの力を高めるチャンスでもあります。毎日の授業に集中して臨んだり、仲間と協力して体育祭や合唱コンクールなどの行事に向けた様々な活動に前向きに取り組んだりする中で、学力、体力、協調性を高めてください。それが、あなたたちの力になります。

そろそろ夏が終わり、秋になります。実りの秋です。皆さんが頑張った成果が実を結び、多くの実りがある2学期にしましょう。

9月10日(土)の体育祭では、生徒たちの笑顔が輝いていました。困難を乗り越え、大きな行事をやり遂げた、達成感にあふれた素敵な姿でした。一人一人が、体育祭に向けて自分にできることを考えて実行していました。役割が違っても、「体育祭の成功」という共通の目標に向かって、それぞれが努力した結果、素晴らしい体育祭を創り上げることができました。1学期からの企画や練習も、前日や当日の準備や片付けも、熱心に取り組む姿がたくさん見られました。

中学校の3年間は小学校の半分と短いですが、人の一生の中で最も中身の濃い3年間だと思います。様々なことに挑戦し、困難を乗り越える中で、人として成長し、将来を自らの力でたくましく歩んでいける人になってほしいと願っています。そのために、紫雲寺中学校で充実した教育活動を提供できるように、職員一同努力しますので、今後とも、ご支援をよろしく願いいたします。